

コーラス (2004)

LES CHORISTES
CHORISTS

メディア 映画

ジャンル ドラマ 音楽

製作国 フランス

色彩 Color

時間 97分

初公開日 2005/04/09

公開情報 日本ヘラルド映画

【キャッチコピー】

涙がこぼれそうなとき、
歌があった。

【解説】

「リュミエールの子供たち」のクリストフ・バラティエ監督が1944年のフランス映画「春の凱歌」にインスピレーションを得て撮り上げた感動の音楽ドラマ。戦後間もないフランスを舞台に、問題児たちが集まる寄宿舎に赴任してきた音楽教師と子どもたちとの合唱を通じた心温まる交流を描く。本国フランスでは記録的な大ヒットとなった。主演は「バティニョールおじさん」のジェラルール・ジュニョ。また、“天使の歌声”と絶賛された少年ピエールを演じるのは3000人の候補者の中から選ばれた新人ジャン＝バティスト・モニエ。本作の合唱を担当したサン・マルク少年少女合唱団でも実際にソリストを務めているという。

世界的指揮者のピエール・モランジュは母の葬儀のため帰郷した際、子ども時代の友人ペピノから一冊の日記を手渡される。それは彼の当時の音楽教師クレマン・マチューが遺した形見だった。1949年、フランスの片田舎。“池の底”という寄宿舎に新たに赴任してきたマチュー。そこでは、親をなくした子どもや、素行に問題ある子どもたちが集団生活をしている。子どもたちは心に問題を抱え、校長はそんな彼らに容赦ない体罰を繰り返していた。マチューは子どもたちに本来の純粋さ、素直さを取り戻してもらおうと、“合唱団”の結成を決意する。やがてマチューは、学校一の問題児ピエール・モランジュが素晴らしい歌声の持ち主であることを知るのだった…。

【クレジット】

監督	クリストフ・バラティエ	Christophe Barratier	
製作	ジャック・ペラン	Jacques Perrin	
	アーサー・コーン	Arthur Cohn	
	ニコラ・モヴェルネ	Nicolas Mauvernay	
脚本	クリストフ・バラティエ	Christophe Barratier	
	フィリップ・ロペス＝キュルヴァル	Philippe Lopes-Curval	
撮影	カルロ・ヴァリーニ	Carlo Varini	
	ドミニク・ジャンティ	Dominique Gentil	
編集	イヴ・デシャン	Yves Deschamps	
音楽	ブリュノ・クーレ	Bruno Coulais	
	クリストフ・バラティエ	Christophe Barratier	
合唱	サン・マルク少年少女合唱団		
出演	ジェラルール・ジュニョ	Gerard Jugnot	クレマン・マチュー (音楽教師)
	ジャン＝バティスト・モニエ	Jean-Baptiste Maunier	ピエール・モランジュ (少年時代)

ジャック・ペラン	Jacques Perrin	ピエール・モランジュ
フランソワ・ベルレアン	Francois Berleand	ラシャン（校長先生）
マリー・ビュネル	Marie Bunel	ヴィオレット・モランジュ
カド・メラッド	Kad Merad	シャベール（体育教師）
マクサンス・ペラン	Maxence Perrin	ペピノ
ジャン＝ポール・ボネール	Jean-Paul Bonnaire	マクサンス
グレゴリー・ガティニョル	Gregory Gatignol	モンダン
キャロル・ヴェイス	Carole Weiss	伯爵夫人
フィリップ・デュ・ジャネラン	Philippe Du Janerand	